



西尾 寿博 議員

行財政改革は進んだか

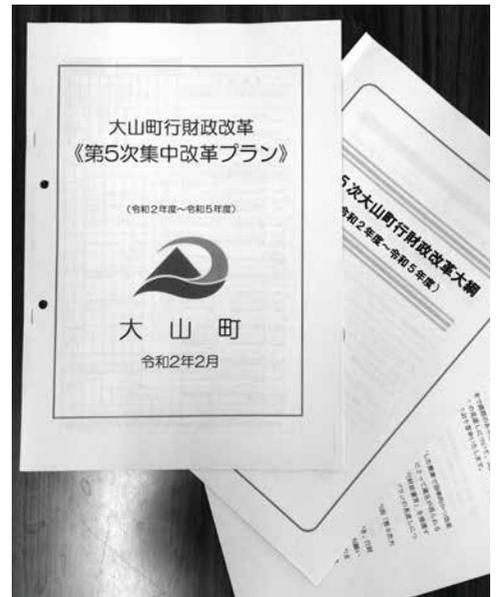
町長 今後も取り組む

〔西尾〕本年度予算では実質5億円の基金を取り崩している。行財政改革を断行しなければ財政が行き詰まる。どんな行財政改革に取り組んだのか。

〔町長〕社会人口減少を食いとめ、持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

〔西尾〕大山町行財政改革審議会は人件費の増加を懸念し、職員定数適正化計画の必要性が指摘されたが。

〔町長〕定員管理の指標を作成し、職員採用の目標数値を設定する。



厳しい指摘の審議会答申

〔西尾〕各自主組織に高額な補助金を出している。町民の理解が得られているか。

〔町長〕各自主組織に年間300万円を支援している。直営より安価で主体性のある事業となっている。

今後、事業費の積み上げ方式による交付などの検討をしたい。

〔西尾〕国債などで運用している歳計現金7億円はどうするのか。

〔町長〕出納閉鎖後の6月頃、基金に振りかえる。

待ったなしの観光行政と少子化問題は

町長 効果がある施策をおこなう

〔西尾〕観光行政と少子化対策は、すぐにも取り組まなければならない。

今年の雪不足で観光業は瀕死の状況である。10年以上前から雪不足が心配されながら、観光行政への対応が進んでいない。

すぐに何か手を打たないか。

〔町長〕グリーンシーズンを活用する観光モデルへの転換を視野に入れて、アウトドアアクティビティ推進などの施策を実施したい。

〔西尾〕昨年の人口は社会増で17人、全体では、168人減少し、1万6180人である。

有効な施策もあつたが、少子化は止まらない。今後の対応は。

〔町長〕来年度、賃貸住宅などの計画を検討する。

また、結婚対策事業で、地域や自主組織、民間団体などから要望があれば、どんな支援ができるか考えたい。



宅地開発が人口増に貢献